



令和7年度 学校経営・運営ビジョン

「報徳の教え」

- 至誠(誠実・明朗)
- 勤労(勤勉・努力、不撓不屈)
- 分度(節度・節制)
- 推譲(思いやり・親切)

相馬市教育委員会学校教育課 重点目標・努力目標

～地域を支え心豊かに力強く生き抜く子どもの育成～

- I 学力向上(授業改善)
- II 道徳教育の充実
- III 生徒指導・心のケアの充実
- IV 健康・体力・運動能力の向上
- V 食育の充実
- VI 安全教育の充実

< 学校経営の基盤 >

- 「子どもと子ども」、「子どもと教師」、「保護者と教師」が互いのよさを認め合い、「対話」を通して合意形成に基づいた温かな学校づくり。
- 複式学習指導における「一斉指導」と「ひとり学び」のバランスを考えた主体的・対話的な授業の充実と職員研修の活性化
- 「ふくしまの授業スタンダード」と「RSの視点」を意識した「深い学び」へ向けた授業づくり
- 磯部小・中学校と家庭及び地域が連携を深め、震災の継承と防災意識の醸成
- いそべならではの教育の充実

教育目標

- 考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子



重点目標

「一人のできる みんなでやればもっとできる」

サブテーマ

自他のよさ(多様性)を自覚し、自己決定・自己選択できる自立した子ども

保護者や地域のねがい

- 自立心、感謝の心、思いやりの心の育成
- 基礎的・汎用的な学力の定着
- 根拠に基づいた学びの充実
- 地域を愛する子どもの育成

考える子を育てる 確かな学力

- ◎ 能動的な学びのための授業改善
 - ・「再生」「予想」「要約」「換言」「具体化」等の意図的コーディネート
 - ・問いを生成させる教材(提示)の工夫
 - ・「RS」と「相馬メソッド」の効果的な活用
 - ・授業と生徒指導の一体化
- ◎ 「自己決定」と「合意形成」の場の設定
 - ・主体的な発言と他己説明を促すコーディネート
 - ・ICT機器による思考の共有と紡ぎ合い
- ◎ 体験型問題解決学習の活用
 - ・地域を教材とした体験学習
 - ・SDGSと関連付けた問題解決学習
- ◎ 家庭学習の習慣化
 - ・家庭学習スタンダードの定着(自己マネジメント力の育成)
 - ・小中連携による9年間を見通した学びの接続(特に算数・数学、外国語)

思いやりのある子を育てる 豊かな心

- ◎ 「重点目標」を意識した協働性の醸成
 - ・「自信」から「自立」への意識付け
 - ・「仲間意識」から「協働性」への転換
- ◎ 「郷土愛」の醸成
 - ・地域人材とのふれあいの場の設定(梨の栽培・茶道作法・日常のふれあいを通して)
 - ・感謝の心の醸成
- ◎ 「考え・議論する道徳授業の充実」
 - ・保護者参加型の「授業参観」
 - ・読み物としての教材からの脱却と道徳実践力の育成
- ◎ 「継続的で積極的な生徒指導」
 - ・全職員による子どもの変容の「見取り」と「共有」
 - ・早期発見と早期対応
- ◎ 「読書量を増やす工夫」
 - ・放送による図書紹介と職員による読み聞かせ
 - ・学校図書館環境の整備

たくましい子を育てる 健やかな体

- ◎ 運動量を増やす取組の充実
 - ・課題である(持久力・柔軟性)の補強
 - ・マラソン・縄跳び強化期間の活用
 - ・毎週木曜日の「健康運動タイム」の継続した取組(課題に焦点を当てた内容)
- ◎ 規則正しい生活習慣の維持・継続
 - ・各種疾病の早期治療(肥満予防等)
 - ・栄養教諭による授業
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の推奨
 - ・「SNS」への注意喚起(家庭との連携)

自分の命は自分で守る子を育てる 学校安全・安心

- ◎ 「命を守る防災教育」
- ◎ 避難訓練(引き渡し)・「炊き出し訓練」の継続実施
- ◎ 「危険回避能力の育成」
 - ・日常的な安全点検
 - ・学校事故防止の視点の共有化

教職員の資質向上

- 信頼され学び続ける教師集団
- ・当事者意識・同僚性・孤立化防止の共有(ロールプレイ型研修、専門家による講話等)
- ・自己研鑽し授業力向上できる職員集団

磯部小の教育を支える基盤として

出あいの重視

- 地域との心のふれあい
- 磯部小・中学校の合同学校行事の開催(運動会・学習発表会/文化祭等)

家庭・地域連携

- 保護者・地域とのこまめな双方向の交流
- ・日々の教育活動の情報発信(ブログ、学校だより、各種たよりの発信)
- 非常災害時の共通理解